

## ダンス部

部長 中村 恭子

### 1. 組織と活動状況

順天堂大学ダンス部（通称JUD）は、平成3年度から女子学生が入学してきたのを契機に、有志が集まって同好会としてスタートし、本年で18年目となる。創立当初10名余りだった部員は、スポーツ健康科学部だけでなく、医学部、医療看護学部の学生も一緒に活動するようになり、今年度は総勢60名余で活動した。

クラブの年間計画は主将を中心に4年生で企画し、運営している。公演など各イベントの作品振付や演出はもちろんのこと、会場設営や衣装制作、広報宣伝活動なども部員総出で分担して行っている。ダンスは自ら表現したいという思いに駆られて踊ることが何より大切であるので、企画や振付段階では、参考程度の提案はするが押し付けず、出来るだけ部員の主体的活動となるよう見守ることにしている。今年度は、作品の振付が完成し、振り落としが終わって踊りこみに入った段階から、見栄えや全体とのバランスを見て、具体的技能的な助言を行った。独創的な発想と豊かな表現性に満ち、技術的にも完成度の高い作品を上演するためには、企画から踊りこみまで多くの努力とメンバー同士の協力を必要とする。自分たちのやりたいと思うことを思うままに実現させた達成感は、何よりの心の糧となるに違いない。指導者は、それを支える存在でありたい。

練習は原則として週3日、月曜日と木曜日は16:30～21:00、土曜日は13:00～17:00であった。加えて、公演前などは水曜日にも全体練習を設ける他、ジャンルやチーム編成別、あるいは個人的に、ほぼ毎日練習している。練習拠点は、壁一面の鏡と音響設備を有し、ダンスのための設備が整ったさくらキャンパス第2体育館であるが、多くのクラブと活動場所を分けあうため、夕方6時以前などは他部に譲ることが多い。足りない練習場所を補うために、啓友会館2階のロビーを活動場所として認めていただいております。常設されている机や椅子を移動し、夜間は窓ガラスを鏡がわりにして、練習場所を確保している。

### 2. 活動内容

取り組んでいるダンスの種類は、発足当初は創作ダンス、チアダンス、フォークダンスなど、多様な種類のダンスに取り組んでいたが、まもなく、国内でのストリートダンスの急速な普及の影響から、ストリートダンスを中心に取り組むようになっていく。ストリートダンスにはHip Hop, Breakin', Lock, House, Pank, Pop, Jazz, Girls Hip Hop, Reggae, African, Free Styleなど様々なジャンルのダンスがあり、それぞれ異なるテクニックを要する。一般的なストリートダンサーは専門ジャンルを中心に活動するが、本学ダンス部ではオールジャンル（どんなジャンルのダンスでも踊れるダンサー）を目指している。

今年度の主な活動内容を挙げる。

#### (1)自主公演

- 10月30, 31日 順風祭ダンス部公演

Autumn Dance Performance vol. 10「SOUND」

さくらキャンパス第2体育館（3回公演）

今年度は、秋公演の演出において2つの新たな変革を試みた。

秋公演の前に実施している10月の秋公演合宿を、例年は菅平で行っていたが、昨年度、バス移動が原因で風邪が蔓延したことを反省し、今年度は銚子の合宿所に場所を移し、現地集合で実施した。結果的に近距離の合宿であったため、減った移動時間を練習のために有効に使えたほか、多くのOG、OBの来訪と激励をもらえたことは、部員のモチベーションを高める好機ともなった。

また、従来の秋公演では、1部に全体作品、2部に学年作品を配置していたが、今年度は代々続いてきたその構成を一新し、学年作品を全体作品の中に組み入れて一本化を図った。公演全体がひとつのテーマに沿って展開された今年度の作品SOUNDは、多くの観客の皆様から称賛の声をいただいた。この構成の変更案はダンス部を指導させていただくようになった当初より提案していたが、なかなか

実現できずにいたものである。指導8年目にして、漸く新たな一步を踏み出せたと感慨深い。

伝統となっているものを変えることは勇気が要るが、今後も常に向上心を持ち、いい表現、パフォーマンスを求め続けていきたい。

#### (2)自主イベント

- 4月24日 J-GROOVE vol. 14 (千葉)
- 7月31日 J-GROOVE vol. 15 (新宿)
- 7月3日 DDT ダンスイベント (啓友会館)
- 10月23日 順華祭ダンスパフォーマンス

J-GROOVEは、部内でダンスジャンルなどによって数人のチームをいくつも編成し、各チームの作品を上演する企画である。外部のゲストダンサーも招いた。4月は新入生歓迎イベントとして行ったが、8月は1年生もチームを組んで出演した。卒業生も参加できる発表の場であり、現役学生とOB、OGの交流の場としても機能している。8月にはチームの作品発表だけでなく、外部の審査員を招いて5 on 5のバトル(ソロダンスのチーム対抗戦)も行った。

#### (3)泰然の庭ダンスパフォーマンス

- 4月 春泰然ダンスパフォーマンス
- 6月 梅雨泰然ダンスパフォーマンス
- 10月 秋泰然ダンスパフォーマンス
- 12月 クリスマス泰然パフォーマンス

さくらキャンパス泰然の庭で昼休みに行っている泰然パフォーマンスは、季節ごとに3日間実施するのが定着している。キャンパス内の学生と気軽に交流でき、また、娯楽性のある作品にも挑戦できる好機である。しかし、ストリートダンスの原点ともいえる露天でのパフォーマンスは天候に左右されやすく、今年度は予定の日程を全て実施できなかったことが残念である。

#### (4)招聘イベント

- 11月7日 いにはの祭ダンスパフォーマンス
- 11月28日 ユーカリが丘フェスティバル  
ダンスパフォーマンス
- 12月5日 いんざい“ご当地ぐるめ”選手権  
ダンスパフォーマンス

秋公演などをご覧になった地域の市町村リーダーからの要請で、各地のイベントに招聘されることが多くなってきた。会場の設備が十分でないことも多く、いい環境ばかりではないが、地域交流の場として理解して積極的に取り組んだ。

#### (5)ダンススクール Junior UD

一昨年度から継続して行っている有志部員のボランティアによる酒々井町の小学生を対象としたダンススクール Junior UDを毎週火曜日の夜実施した。

#### (6)外部公演

自己研鑽のため、部員の多くが外部団体の公演にも出演している。中でも大きな公演は、3月に行われる関東ダンス連盟Σ公演である。関東近県の大学ダンス部、ダンス同好会のメンバーが集い、本学ダンス部員も約半数が出演し、総勢300名余のダンサーが1つの舞台上で踊るこの公演は、各大学のトップダンサーが振付を担当し、約2か月の練習期間を経て興行される。この公演に参加することにより、本学部員も飛躍的に技能が高まる。

#### (7)コンテスト

部員の中でも技能の高いものは、外部のダンスコンテストに出場している。もっとも大きなコンテストはDANCE@LIVEであり、全国規模の大会である。本学ダンス部からも5名が出場したが、今年度は2回戦進出が最高記録であった。今後の部員の活躍に期待したい。

### 3. 卒後の進路について

近年は、卒業後にプロのダンサー、指導者として活躍する学生も増えてきている。今年度は2人がプロの道に進んだ。ダンスで生計を立てるといことは容易なことではないが、OB・OGの活躍を見て、今後もプロを目指す部員が増えることと思われる。卒後の活躍にも期待したい。

最後になりましたが、ダンス部の活動にご理解ご協力をいただきましたことに感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。